

平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	地域医療再生基金（地域医療再生臨時特例交付金）			担当部局	復興庁			作成責任者
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	終了年度未定	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 小瀬 達之
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	「平成27年度地域医療再生臨時特例交付金の交付について」(平成27年6月10日)、「地域医療再生臨時特例交付金の運営について」(平成27年6月10日)			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災による被災地の復興を支援するため、当交付金を交付して、甚大な被害を受けた県に対して地域医療再生基金を積み増し、被災地の医療提供体制の再構築に向けた取組への支援を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被災県が「医療の復興計画」等に基づく事業を遂行していく中で、計画策定時(平成23年度)以降に生じた状況変化に対応するために生じる予算の不足を補うために基金を拡充する。							
実施方法	交付							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	17,230	0	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	0	17,230	0		
	執行額	-	-	-				
執行率(%)	-	-	-					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 29年度
	震災により被害を受けた医療機関の再建等を行い、復興後の医療提供体制を確保する。(岩手県)	受入可能となる病床数	成果実績	床	-	-	-	
			目標値	床	-	-	-	150
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 29年度
	震災により被害を受けた医療機関の再建等を行い、復興後の医療提供体制を確保する。(宮城県)	受入可能となる病床数	成果実績	床	-	-	-	
			目標値	床	-	-	-	520
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 29年度
	震災により被害を受けた医療機関の再建等を行い、復興後の医療提供体制を確保する。(福島県)	受入可能となる病床数	成果実績	床	-	-	-	
			目標値	床	-	-	-	1,714
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	震災により被害を受けた医療機関の再建等を行い、復興後の医療提供体制を確保する。(茨城県)	受入可能となる病床数	成果実績	床	-	-	-	
			目標値	床	-	-	-	663
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	鹿行医療圏の病院勤務の人口10万人対常勤医師数について、震災前の状況にまで回復する(茨城県)	病院勤務の人口10万人対常勤医師数(H25.10現在45.1人)	成果実績	人	-	-	-	
			目標値	人	-	-	-	54.4
			達成度	%	-	-	-	

活動指標及び活動実績		活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
活動実績 (アウトプット)	施設整備を行う医療機関数(岩手県)	活動実績		箇所	-	-	-	
		当初見込み		箇所	-	-	-	3
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
活動実績 (アウトプット)	施設整備を行う医療機関数(宮城県)	活動実績		箇所	-	-	-	
		当初見込み		箇所	-	-	-	2
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
活動実績 (アウトプット)	施設整備を行う医療機関数(福島県)	活動実績		箇所	-	-	-	
		当初見込み		箇所	-	-	-	7
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
活動実績 (アウトプット)	施設整備を行う医療機関数(茨城県)	活動実績		箇所	-	-	-	
		当初見込み		箇所	-	-	-	2
活動指標及び活動実績		活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
活動実績 (アウトプット)	寄附講座の設置にかかる支援(医師数見合い)	活動実績		人相当	-	-	-	
		当初見込み		人相当	-	-	-	14
単位当たりコスト		算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	医療機関の施設整備(岩手県) 執行額/箇所数	単位当たりコスト		百万円	-	-	-	190.2
		計算式		/	-	-	-	=570.621/3
単位当たりコスト		算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	医療機関の施設整備(宮城県) 執行額/箇所数	単位当たりコスト		百万円	-	-	-	5,005.6
		計算式		/	-	-	-	=10,011.232/2
単位当たりコスト		算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	医療機関の施設整備(福島県) 執行額/箇所数	単位当たりコスト		百万円	-	-	-	706.6
		計算式		/	-	-	-	=4,946.164/7
単位当たりコスト		算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	医療機関の施設整備(茨城県) 執行額/箇所数	単位当たりコスト		百万円	-	-	-	744.8
		計算式		/	-	-	-	=1,489.581/2
単位当たりコスト		算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	鹿行医療圏の医師確保(茨城県) 執行額/支援(医師数見合い)	単位当たりコスト		百万円	-	-	-	15.1
		計算式		/	-	-	-	=212/14
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	地域医療再生臨時特例交付金	17,230	0					
	計	17,230	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	被災地の医療提供体制の再構築は、国民の生活を守る上で重要であり、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	被災地の医療提供体制の再構築について、国として財政支援を行う必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	被災県が実情に応じて優先度の高い事業を実施している。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	補助率等は、被災県において妥当性を精査し、設定している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	被災県が策定する「医療の復興計画」等に基づいて交付額を決定しており、「医療の復興計画」等に定められた事業の実施に活用するため、目的に即した用途に限られる。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	計画を達成するために不足している金額のみを計上している。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	被災県は自ら策定した「医療の復興計画」等に基づく事業に活用できるため、被災地の医療提供体制の再構築に向けて実効性の高いものとなっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
点検・改善結果	点検結果	当該事業は、被災県が計画的に行う被災地の医療提供体制の再構築に対する重要な支援事業であり、各事業を着実に進めることにより、今後の成果が期待されることから、継続して被災県を支援してまいりたい。			
	改善の方向性	被災県が計画的に復興事業を進めているところであり、引き続き適切に実施していく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
終了予定	平成27年度予算において積み増した基金により本事業の目標は達成できるため、平成28年度においては予算要求をおこなわないことが適当である。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
予定通り終了	平成27年度予算において積み増した基金により本事業の目標は達成できるため、平成28年度においては予算要求をおこなわない。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	24-078	平成26年度	新27-005		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省

被災地における医療施設等の復旧・復興について、地域医療再生基金の積み増しを行い、被災県が平成27年度までを計画期間として策定した医療の復興計画等に定める事業を支援する。



A.岩手県、宮城県、福島県、茨城県

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					